

春野・ホタル館

(併設 ホタルの学校)

- 春野水と緑とホタルの会
- 高知大学ほたる飛ばし隊!!

「ホタルの光は、地球を救う希望の光」

●ホタルは、水と緑豊かな環境で、多くの生き物と共生しています。
●ホタルを殖やせば、地球を救えるのです。



- ホタルの飛びたつ池、カワニナ養殖水路
- 幼虫飼育場
- ホタル関係資料の閲覧、展示場があるよ!



ゲンジボタルの一生



産卵 (6月)

- 川岸のコケなどに、500~1000個の卵を産みつける。
大きさは、約1.5mm。
- 最初半透明が白くなり、だんだん黒くなり、中で幼虫が動くようになる。

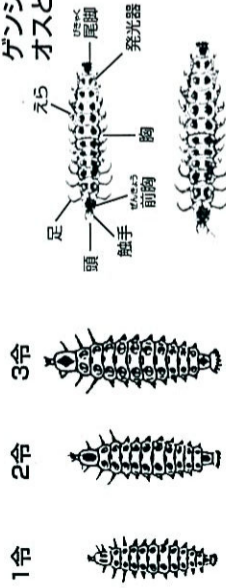


幼虫 (7月)

- 卵は、約30日後に孵化(ふか)し、幼虫になる。
- 幼虫は水中でカワニナを餌に翌年4月まで水中生活。

〈脱皮と体の模様の変化〉

1~3令までは変化するか、以後はほとんど変わらない。



交尾

飛翔・発光

- オスは明滅しながら飛び、(集団同時明滅)
- メスは葉や茎にとまって、オスの明滅に反応する。
- 乱舞の山は3回(日没後、0時、夜明け前)
- 活動がにびく、あまり飛びはしないのは雨降り、風の強いとき、気温の低いとき、満月



上陸 (4月)

- 終令幼虫は、4月中旬の雨の暗夜に川岸にはい上がり、土の中にもぐり、土まゆをつくる。

蛹化 (5月下旬)

- 幼虫は口から液を出し、土を固めて自分の体を包み込むまゆを作る。
- これから約40日間(前蛹期間)じっとしている。



幼虫 (7月~翌年4月)



カワミナを食べる幼虫



羽化・成虫 (6月)

- 約10日後に羽化し、飛び出す。
- オスの方が、1週間ほど早い。
- エサはとらない、水だけ。



- 羽化して15時間後のさなぎ
- 羽が黒くなっている
- あと10日もすれば地上にでる

- 幼虫が脱皮して15時間後、完全なさなぎになっている。
- 成虫の原型ができあがっている
- 大きな目がきわだっている

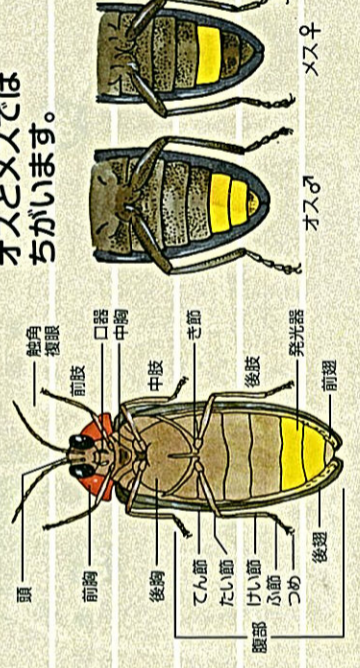
ホタルを守る、地球にやさしい暮らし方 -誰にでもできる3つのこと-

- ① 節水しよう
- ② 節電しよう
- ③ 地球を汚さないようにしよう
 - 生活排水をきれいにしよう
 - 油はふきとろう
 - 米のとぎ汁は流さないようにしよう
 - 洗剤は少なくしよう
- ゴミをささないようにしよう
- 資源ゴミはリサイクルしよう

ホタルは、なぜ光る?

- オスとメスが出会うための愛のシグナル
- 発光器の中の発光細胞「ルシフェリン」が、特別な酵素ルシフェラーゼのはたらきで酸化する時光を発生する。

● ホタルの体は?

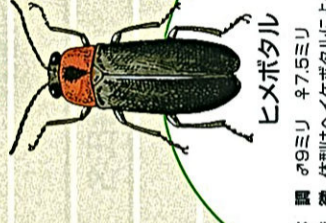
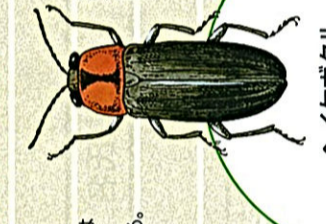
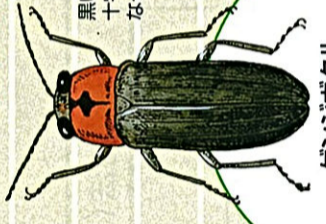


オスとメスではちがいます。



● 高知市周辺で見られるホタル

水生ボタル (幼虫が水中ぐらら)



陸生ボタル (一生陸上ぐらら)



世界で 約2000種類
日本で 46種2亜種
四国で 8種

ホタルの学校に入学しませんか

目的

春野の夜空をホタルの光でいっぱいにする「ホタルの里づくり」

学習内容 - 基礎

- ホタルのイ・ロ・ハ
- どんな生き方をしているのか(ホタルの一生)
- どんなところで暮らしているのか(環境)
- ホタルの周りにどんな生きものがいるか
- ホタルはどうして、少なくなってしまったのか
- ホタルが環境問題の「バロメーター」となっている意味を知る

ホタルの保存・保護活動 - 復活活動

- 観察会・見学会で現地の実態を知り、必要に応じ、その対策を検討する
- ホタルの人工飼育をし、放流する

ホタルの学校 申込書

(コピーでも可)

申し込み条件

- 小学生は、親子(保護者)での参加を原則とする
- 小学生は、観察会・現地調査等には、保護者同伴とする
- 費用は原則無料

	児童氏名	保護者氏名	連絡方法(TEL)
小・中・高 年			
小・中・高 年			
小・中・高 年			

提出先 春野・水と緑とホタルの会(代表 平尾守満)

〒781-0311 春野町芳原1505

☎090-4098-5962